

## 第19回 宇和島市立伊達博物館建替委員会 会議録

- 日 時 令和6年3月18日(月) 14:00~14:45
- 場 所 宇和島市役所701会議室
- 出席者 [宇和島市立伊達博物館建替委員会委員(順不同、敬称略)]  
木村宗慎、廣瀬孝子、森田松次、二宮信彦、宮本直明、三好めぐみ、  
有間義恒、二宮 一之、行定圭一(遅れて出席)  
[事務局]  
教育部長、文化・スポーツ課長  
伊達博物館(館長補佐、係長)
- 議 事 (1) 建替の進捗状況について  
(2) 開館後の休館日、開館時間等について

---

### 次 第

- 1 開会
- 2 議事
- 3 閉会

## ■会議の記録

### 1 開 会

(事務局による司会進行)

- ・ただいまから、第 19 回建替委員会を開催いたします。

それでは、開会にあたりまして、木村委員長から御挨拶申し上げます。

(委員長挨拶)

委員長

- ・お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。皆様の御意見を頂戴しまして、実りの多い議事になりましたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

- ・本日の出席委員、9名中8名、過半数を超え、会議が成立していることを報告させていただきます。
- ・教育部長より挨拶。
- ・それでは議事に移りますので木村委員長、お願いいたします。

### 2 議 事

#### (1) 建替の進捗状況について

委員長

- ・それでは、議事に移りたいと思います。まず建替の進捗状況について、事務局、説明をお願いします。

事務局

- ・まず建替の進捗状況から御説明いたします。

8月に実施設計が完了し、9月定例会にて、建設工事費等の予算の債務負担行為の議決をいただきましたので、10月10日に建設工事の入札を公告、11月15日に開札しましたが、応札がありませんでした。これを受け、再公告に向け、事業費、スケジュール等の調整を行いました。

全体事業費につきましては、これまで、左の表の緑色の部分、一番下、概算で48.5億円と説明しておりましたが、再積

算の結果、青色の部分のとおり、52億7,900万円となりました。増額の要因につきましては、右中段に記載しておりますが、建設工事費につきましては、再入札にあたって、物価高騰等に対応するため、最新の資材単価、労務単価への置き換えや、見積の再徴収のほか、来月4月の単価改定も考慮する一方、屋根材仕様の変更など、可能な範囲での修正を行い減額調整も行いました。これらの結果、工事費等につきましては、4億円増の38.5億円としております。次に、工事監理費につきましては、2,900万円増の9,000万円となっておりますが、本年1月に、算定にしようしている国交省の「基準」が5年ぶりに改正されたことを受けて、再積算しました結果、増額となったものです。次に、全体スケジュールにつきましては、2月27日に3月議会本会議において、債務負担行為予算の補正について承認をいただきまして、3月4日に建設工事の入札公告をしております。開札日は4月10日で、落札されれば、仮契約となります。なお、博物館の開館には、二夏の枯らし期間を必要としますので、請負契約議案を6月議会に提出しますと、開館が1年遅れることとなります。従いまして、4月末か5月上旬の臨時会で採決いただくことを想定しております。また、展示製作業務委託につきましても、これは、設計業者である丹青社と随意契約となりますが、これもあわせて、臨時会にて契約議案の採決をいただくこととなります。臨時会で、契約議案の承認をいただきましたら、本契約となり、建設工事は、6月頃の着工、令和7年10月末に竣工予定、展示製作業務は、令和7年度末が工期となっております。新博物館の開館は、予定どおり、令和9年春を見込んでおります。

- 委員長                    ありがとうございます。何か御意見や御質問があればお願いします。
- A 委員  
事務局                    ・今後の物価上昇による影響は大丈夫ですか。  
                              ・物価高騰等に対応するため、最新の資材単価、労務単価への置き換えや見積の再徴収など、現時点で想定される事業費に見直していますが、ご指摘のとおり、それを上回る可能性もあります。
- B 委員  
事務局                    ・施設の枯らし期間とは何ですか。  
                              ・新築後の建物では、コンクリートから放出されるアンモニアなどの化学物質により、文化財が被害を受けてしまうおそれがあるため、二夏以上の枯らし期間を設けるものです。

## (2) 開館後の休館日、開館時間等について

- 委員長                    ・次に、開館後の休館日、開館時間等について説明をお願いします。
- 事務局                    ・新博物館の休館日は、現博物館と同じ火曜日と年末年始を想定しています。開館時間は、2階の企画展示室は現博物館と同じ9時から17時まで（入館受付は16:30まで）を想定していますが、1階常設展示のフロアは9時から19時を想定しています。観覧料については、1階部分の常設展示は無料とし、2階の企画展示室は有料とする予定です。企画展示室の観覧料は、現博物館と同じ500円を想定していますが、展示の内容に応じて高く設定することもできる仕組みにしたいと考えています。また、新博物館では高校生無料化を検討しています。新たに設置する研修室は、使用料を設定して貸

- し出しを行う予定です。近年、博物館を結婚式などの会場として使用するユニークベニューという取り組みが行われているため、火曜日又は夜間に限り、施設全体の貸し出しについても検討が必要と考えています。
- 委員長
- ・ありがとうございます。何か御意見や御質問があればお願いします。
- C 委員
- ・せっかく隈研吾さんの博物館ができるので、多くの人に来ていただきたい。そのためには、観光客や帰省した方のために12月29日と30日は開館してほしい。また、開館時間は、10時から18時をとっている美術館・博物館もある。開館時間を1時間後ろ倒してはどうでしょうか。
- 事務局
- ・開館日、開館時間の拡大は維持管理費が増加するため、費用対効果や職員の勤務体系を踏まえたうえで検討してまいります。
- D 委員
- ・要望として、1階常設展示のフロアの閉館時間は、各団体などがイベント等で使用する場合に19時は早いため、例えば21時にするなど時間延長が可能な運用形態にしていきたい。新博物館がより開かれた場所なんだということを打ち出してほしい。
- E 委員
- ・観覧料は、通常は500円でもいいと思うが、特別に費用がかかった場合は1,000円するなど、柔軟な対応はできませんか。
- 事務局
- ・博物館法では、公立博物館は入館料無料が原則ですが、維持管理費のために必要な対価を徴収することができることになっています。この考え方のもと、観覧料を徴収しているということになりますが、特別な展示の場合は1,000円に設定するなどの検討は必要だと考えています。

F 委員  
事務局  
G 委員  
事務局

- ・新たに設置される研修室で飲食は可能ですか。
- ・現時点では決まっていないため、検討を進めてまいります。
- ・クラウドファンディングの活用を検討してください。
- ・新博物館の備品や什器類、ソフト事業などに、クラウドファンディングやふるさと納税が活用できないか、また、ご寄付を頂いた方の芳名板を設置するなど、引き続き検討してまいります。

### 3 閉 会

(委員長)

- ・その他、御意見ございませんでしたら本日の委員会は、以上で閉会といたします。